

2021年6月3日

アジア太平洋緑内障学会（APGC 2021）において
オミデネパグ イソプロピルに関する最新データを発表

参天製薬株式会社（本社所在地：大阪市）は、2021年6月4日から8日にバーチャル形式で開催される第5回アジア太平洋緑内障学会（APGC 2021、<https://www.apgc2021.org/>）において、EP2受容体作動薬、オミデネパグ イソプロピルに関して以下の発表が行われますことをお知らせ致します。

オミデネパグ イソプロピルは、緑内障・高眼圧治療剤「エイベリス点眼液 0.002%」として2018年に日本で発売しています。アジアでも複数の国で承認を得ており、2021年2月に韓国で発売しました。米国でも新薬承認を申請しています（PDUFA¹に基づく審査終了目標日：2021年11月19日、開発コード：STN1011700）。本学会では、アジアで実施された第Ⅲ相臨床試験の成績などが発表されます。プレゼンテーションに関する情報は、こちらのリンク先にある On-Demand Program、Oral On-Demand Presentations、Medical Treatment を順にクリックしてご覧ください。

https://apgc2021.org/program/#tabs_desc_1840_3

オミデネパグ イソプロピルに関する主要演題

演題番号	発表演題
145	Spectrum 6: Randomized Phase 2 trial evaluating the safety and efficacy of omidenepag isopropyl 0.002% once and twice daily dosing in subjects with primary open-angle glaucoma/ocular hypertension
174	Severity and time course of conjunctival hyperemia in subjects with open-angle glaucoma/ocular hypertension treated with omidenepag isopropyl
175	Comparison of omidenepag isopropyl 0.002% with latanoprost 0.005% in subjects with open-angle glaucoma/ocular hypertension: The Phase 3 PEONY Trial

1 Prescription Drug User Fee Act: 1992年に米国で制定された新薬承認促進のための法律

以上

本件に関するお問い合わせ先

参天製薬株式会社 IR 室

E-mail: ir@santen.com